

飛鳥資料館 春期特別展 「比羅夫が行く—飛鳥時代の武器・武具・いくさー」

飛鳥に政権が置かれた7世紀は、中国的な中央集権国家を打ち立てる動乱の時代でした。百済をめぐる唐・新羅との戦、蝦夷や肅慎ら北方集団との戦い、さらに古代史上最大の内乱である壬申の乱など、さまざまな「いくさ」がおこなわれました。また、律令制の導入にともなって、身分を表すファッショնとして武器を身につけるようになりました。この結果、7世紀には、日本の武器や武具の大きな画期が生まれたとされます。

そうした時代、朝鮮半島や北方での戦に一人の将軍が関わったことが『日本書紀』に記載されています。阿倍比羅夫です。彼がみたであろう、北方地域や大陸との比較、唐の時代のファッションを通じて、飛鳥時代の武器と武具、そして「いくさ」を春の飛鳥資料館でご覧いただきたいと思います。(飛鳥資料館 成田聖)

会期：2012年4月14日（土）～6月3日（日）会期無休

開館時間:9:00 ~ 16:30 (入館は 16:00まで) お問合せ:☎ 0744-54-3561 (飛鳥資料館)

ギャラリートーク：4/15（日）13:00～ 5/12（土）11:00～ 5/19（日）13:00～

記念講演会：5月12日（土）13:30～「飛鳥の武器生産と東北」講師：豊島直博氏（文化庁）



平城宮跡資料館 春期企画展 「発掘速報展 平城2011」／文化財レスキュー展

毎年恒例の「発掘速報展」では、本年度調査した3つの遺跡（平城宮東院地区、興福寺北円堂院、平城京左京三条一坊一・二坪）を解説します。会場に足を踏み入れると、床には発掘現場の1／10の大きな遺構平面図が！発掘調査員になったつもりで、図面の上を歩きまわってみて下さい。

同時開催の「文化財レスキュー展」では、東日本大震災で被災した文化財の救援事業について展示します。現地での救援活動や現在も続く保存処理など、救援にあたった奈文研職員の声を交えながらご紹介します。

(企画調整部 渡邊淳子)

会期：2012年3月10日（土）～5月27日（日）

休館日：月曜日（月曜が祝日のときは火曜休館）

開館時間：9:00 ~ 16:30（入館は 16:00 まで）

お問合せ：☎ 0742-30-6753（連携推進課）

ギャラリートーク：会期中毎週金曜日 14:30～ ※5/4は除く

研究員が会場で発掘調査や文化財レスキューの解説をします。



お知らせ

藤原宮跡資料室 土日祝日開室記念展示

2012年4月7日（土）～5月6日（日）

「理もれた大宮びとの横顔

- 藤原宮東面北門周辺出 十の木簡 |

記 錄

現地説明会

- 飛鳥藤原第171次発掘調査(甘樺丘東麓遺跡)
2012年3月4日 1,005名

○平城第488次発掘調査(平城京左京三条一坊一坪)
2012年3月10日 850名

飛鳥資料館 冬期企画展

2012年1月20日～2月26日

「飛鳥の考古学 2011」 2016 名

文化財担当者研修

- 遺跡等環境整備課程
2012年1月10日～20日 13名
 - 保存科学Ⅲ（応急処置）課程
2012年2月6日～10日 20名
 - 地質環境調査課程
2012年2月14日～22日 9名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimur@nabunken.go.jp
発行年月 2012年3月